



国際ロータリー第2750地区
東京多摩グリーンロータリー・クラブ

2010～2011年度

会報

地域の力となり、その輪を広げよう



2011・04・20 第964回例会 No.21-36 2011・05・11発行

司会 SAA・親睦委員会 大石 哲司
点鐘 会長 宮村 宏
ロータリーソング ソングリーダー 吉沢 洋景
「それでこそロータリー」

お客様紹介 会長 宮村 宏
東京武蔵府中RC 福井 衛 様
会務報告 会長 宮村 宏
国際ロータリー第2750地区第7回 RYLA 委員会より報告
書が届きました。閲覧希望の方は事務局に申込み下さい。
幹事報告 幹事 菊池 敏
・今年度活動報告を各委員長は5/25までをお願いします。
・東日本大震災の第2回義援金のボックスを回しますの
で協力をお願いします。

次年度会長報告 会長以外 小泉 博
4月13日の第6回被選理理事会の内容を報告します。



第1号議案 奉仕プロジェクトの審議で、プロジェクト統括委員長の提案を承認・採択しました。立案委員会へまわします。
第2号議案 次年度予算案は継続検討としました。
第3号議案 5月18日の地区協議会は水曜日で、

当クラブ例会と重なるため人選のうえ、参加します。
本日18時から第2回クラブ運営管理連絡会議を開催します。各委員長は出席宜しくお願いします。委員会活動計画未提出の委員長は本日のクラブ運営管理連絡会議に間に合う様、お願いします。

【委員会報告】

出席報告	出席奨励委員会	足立潤三郎
会員総数		36名
出席義務者数		28名
出席者数	出席義務者	19名
	出席義務免除者	5名
	事前MU	0名
	計	24名
出席率	24 / 33	= 72.73 %
第962回例会(4/5)訂正出席率		69.69 %

例会場 京王プラザホテル多摩 例会日 水曜日 12:30～ 月最終例会 18:30～
事務局 〒206-0033 多摩市落合1-43 京王プラザホテル多摩561号
TEL042-372-6463 FAX042-372-6491 Eメール tamagrc@tamagrc.join-us.jp

ニコニコBOX SAA・親睦委員会 藤本 操
宮村 宏 福井様、お話し楽しみにしています。
菊池 敏 福井様卓話楽しみにしております。
足立潤三郎 福井様宜しくお願い致します。
大松 誠二 福島も桜が満開だそうです。
遠藤 二郎 応援を続けたいですね。
萩生田政由 福井様ようこそ。卓話楽しみにしています。
伊澤ケイ子 福井衛様本日の卓話楽しみです。
小泉 博 福井様卓話楽しみです。
村上 久 お客様ようこそ。福井さん卓話
齋藤 誠壽 楽しみです。
関岡 俊二 福井さんの卓話楽しみにしています。
津守 弘範 福井様卓話楽しみにしております。
海野 榮一 福井衛様卓話よろしくお願ひします。
本日合計¥ 14,000 (累計¥ 809,138)

その他委員会

せいせき多摩川花火大会について

花火実行委員会(代理) 猪股 末男
今年度は中止になりました。近隣の花火大会すべて中止であり、せいせき多摩川花火大会も自粛となりました。

ゴルフ部

部長 大松 誠二

様々な催しが中止になっていますが、チャリティゴルフは行います。6月のプロアマチャリティはホストクラブから「このような未曾有の大震災によって日本中が沈滞ムードにある今こそ、結束を深め日本を活性化し震災の復興に役立っていくことこそがロータリアンの使命ではないでしょうか」とコメントがきています。震災への義援金も予定しているようです。多摩市社会福祉協議会大会も6月です。これもチャリティゴルフとして行います。ご参加よろしくお願いします。

SAA・親睦委員会

委員長 萩生田政由

来週の例会は木曜日で座禅会です。間違いのないようにお願いします。

会長 宮村 宏 幹事 菊池 敏 会報・記録委員長 吉沢洋景
副委員長 山田 勲 委員 荒瀧義機 片山哲也 小泉 博 宮本 誠
中谷 紘子 小笠原 悟 柴崎 信洋

派遣奨学生募集

吉沢 洋景 会員

青少年交換プログラムの派遣学生の募集と推薦について案内が来ています。応募期限 7 月 6 日。2012 年夏からの派遣です。対象は地区内の在学在住の子女です。推薦をあげていただきたいと思います。

卓話者紹介

プログラム委員長 関岡 俊二

本日の卓話は東京武蔵府中 RC の福井衛氏です。昨年、府中 RC の方に卓話者の紹介をお願いしたところ福井氏を薦められました。しかし何度も R 財団のことでお話しいただいていることを話すと、大國魂神社、くらやみ祭りに精通しておられ、とてもためになるとのこと、福井氏に依頼すると快くお引き受けいただきました。

卓話 「大國魂神社の由緒と歴史・くらやみ祭り」

東京武蔵府中 RC

福井 衛 様



今年のくらやみ祭りは中止になりました。毎年、警察や消防に警備をしていただいています。この度の東日本大震災で多数の警察・消防官が派遣されており、くらやみ祭りの警備対応ができないための中止です。

大國魂神社の創建は、社伝では 1900 年前、第 12 代景行天皇の 41 年、西暦 111 年 5 月 5 日とされています。くらやみ祭りが何故 5 月 5 日なのか、GW や子供の日に合わせた訳ではありません。

ご祭神は大國魂の大神（おおかみ）で、出雲大社の大國主命とご同体です。遠い出雲の神様と何故ご同体か？武蔵の国、つまり荒川・入間川流域から南、多摩川流域、今でいう埼玉県、東京都、横浜市と川崎市のほぼ全域に当り、その開拓は出雲民族だったのです。

「租庸調」という 3 つの税金がありましたが、この辺りは麻の栽培に適しており、調として麻を献上していました。多摩川は、もともとは多麻川で麻に由来しています。出雲民族はこの麻で潤い、故郷の神様を祀り祠を建てたのが西暦 111 年 5 月 5 日でした。

西暦 645 年の大化の改新で律令国家となり、府中の地が国府とされ、武蔵の国の国魂を祀る神社を造れとの命により国魂神社を造ったと言われています。平安時代には各国府に総社が設けられました。国司が国内の神社を巡って参拝する労を省くため、各神社の祭神を一か所に合わせ祀ったものです。武蔵の国では国魂神社が総社とされました。その後、国内から六つの神社を選び、それぞれのご神体を分祀して合祀せよとの命により、武蔵の国では 44 社から六社を選び、一之宮から六之宮としました。一ノ宮は多摩市の小野神社、二ノ宮は秋川市小川神社、...六之宮は横浜市緑区の杉山神社です。六方位（東西南北と天と地）を収めれば当時の宇宙観で国内すべての地域を収めることができるという思想があったのです。また、総社と六所宮はもともと別の神社でありましたが、合体し武蔵総社六所宮となりました。



大國魂神社には神輿が祀られていますが、一ノ宮から六之宮のご神体と御本社（大國の大神）御霊宮（素浅鳴命）の八基の神輿があります。ご創建の 5 月 5 日の夜、大國の大神のお供をしてすべての神様がお旅所へ渡御され、一泊され、神社にお戻りになる、これが

現在のくらやみ祭りの基本となっているのです。

武士の時代になって守護職により手厚い保護を受け、鎌倉時代以降、府中は武蔵の国の中心として栄えました。徳川家康は武蔵総六所宮に破格の 500 石の社領を寄進しました。家康の馬「那智黒」は現在の府中と国分寺の中間あたりの一里塚の産でした。家康には関が原の戦いや大阪夏冬の陣など戦に勝ったのは良馬のおかげであるという強い思いがあり、朝廷に良馬を献上しました。くらやみ祭りの競馬式は朝廷に献上する馬の品評会でした。櫛並木の補植や馬場の寄進、社殿の大改造など徳川家はこの神社を大変大事にしました。

櫛を最初に寄進したのは源頼朝・義家の父子で、阿部一族との戦に戦勝を祈願し勝ったお礼として櫛の苗 1000 本とすももを献上したものです（すもも祭りのきっかけ）。その後も府中は五街道の整備を行い、門前町・宿場町として栄えました。

しかし明治維新の時、府中は大きな変革期を迎えます。明治新政府は徳川のものをことごとく否定し、神仏の分離や社号の返還、六所宮から大國魂神社への改名、官幣小社への変更、等々の命がなされました。

くらやみ祭りの名の由来は、深夜、街の明かりをすべて消した中をご神体を入れた神輿がお旅所まで渡御されたことによります。神輿の渡御（おいで<行き>）は、府中宿の街場の中心をあえて一斉に消灯し、人々も静まりかえって神輿の通り過ぎるのを待ち、翌 5 月 6 日の神輿還御（おかえり）は街の灯を一斉に点灯し、昼間のように明るい街中を威勢よく神社に帰るものです。この明暗のコントラストが印象深かったために、人々はこの祭りを「くらやみ祭り」を呼ぶようになりました。

祭りの変遷としては、実は 2 つの祭りが合体したものです。国土安穏と五穀豊穡を祈った「国府祭」と怨霊を神様の力を借りて静める「怨霊会」が合体したものです。

くらやみ祭りは毎年同じ場所で同じことが行われますのでお配りしたパンフレットは昨年のものですが、ご参照ください。

お礼と点鐘

会長 宮村 宏

（今週の担当： 片山 哲也 ）